

MAX

ENGINEERED FOR
PERFORMANCE

マックス株式会社

2025年3月期第2四半期(中間期) 決算説明会資料

発表日:2024年10月31日

出席者

代表取締役社長

小川 辰志

専務取締役 上席執行役員

角 芳尋

執行役員 経理部長

北谷 明雄

執行役員 コーポレートコミュニケーション室長

須田 庸夫

目次

2025年3月期第2四半期 全社実績

1. 2025年3月期第2四半期 全社実績
2. 2021～25年3月期第2四半期 全社実績推移
3. 四半期別売上高推移
4. 営業利益の増減要因
5. その他の財務情報
6. 経済指標

2025年3月期第2四半期 セグメント実績

7. 2025年3月期第2四半期 セグメント実績
8. 四半期別セグメント実績推移
9. インダストリアル機器部門 2025年3月期第2四半期実績
10. インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移
11. オフィス機器部門 2025年3月期第2四半期実績
12. オフィス機器部門 四半期別売上高推移
13. HCR機器部門 2025年3月期第2四半期実績
14. HCR機器部門 四半期別売上高推移
15. 四半期別海外地域別売上高推移
16. 重点事業:鉄筋結束機事業の概況
17. 重点事業:鉄筋結束機「コネクティッド ツインタイア」発売

2025年3月期 業績予想

18. 2025年3月期 全社計画
19. 2025年3月期 セグメント計画
20. 2025年3月期 サブセグメント(事業別)計画
21. 配当政策 1株当たり配当金
22. 配当政策 配当性向と純資産配当率
23. 統合報告書の発行

参考資料

24. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)
25. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)
26. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア)
27. 鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(北米)
28. 鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(欧州)
29. 鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(国内)
30. 機工品事業及びオフィス事業の主な製品
31. 国内・海外機工品事業 製品内訳
32. 国内・海外オフィス事業 製品内訳

2025年3月期第2四半期 決算サマリ

- 上期累計で売上高、営業利益ともに過去最高を更新。
- 上期営業利益は、2024年7月31日発表計画値を達成。
- 鉄筋結束機を含むコンクリート構造物向け工具の売上高は175億円(前年比+14%)。年間計画320億円に対する進捗率は55%と堅調。

2025年3月期第2四半期 全社実績

2025年3月期第2四半期 全社実績

■為替レート

当期 1ドル 153.93円 / 1ユーロ 166.49円

前期 1ドル 139.94円 / 1ユーロ 152.73円

計画 1ドル 152.51円 / 1ユーロ 166.02円

(単位:百万円、%)

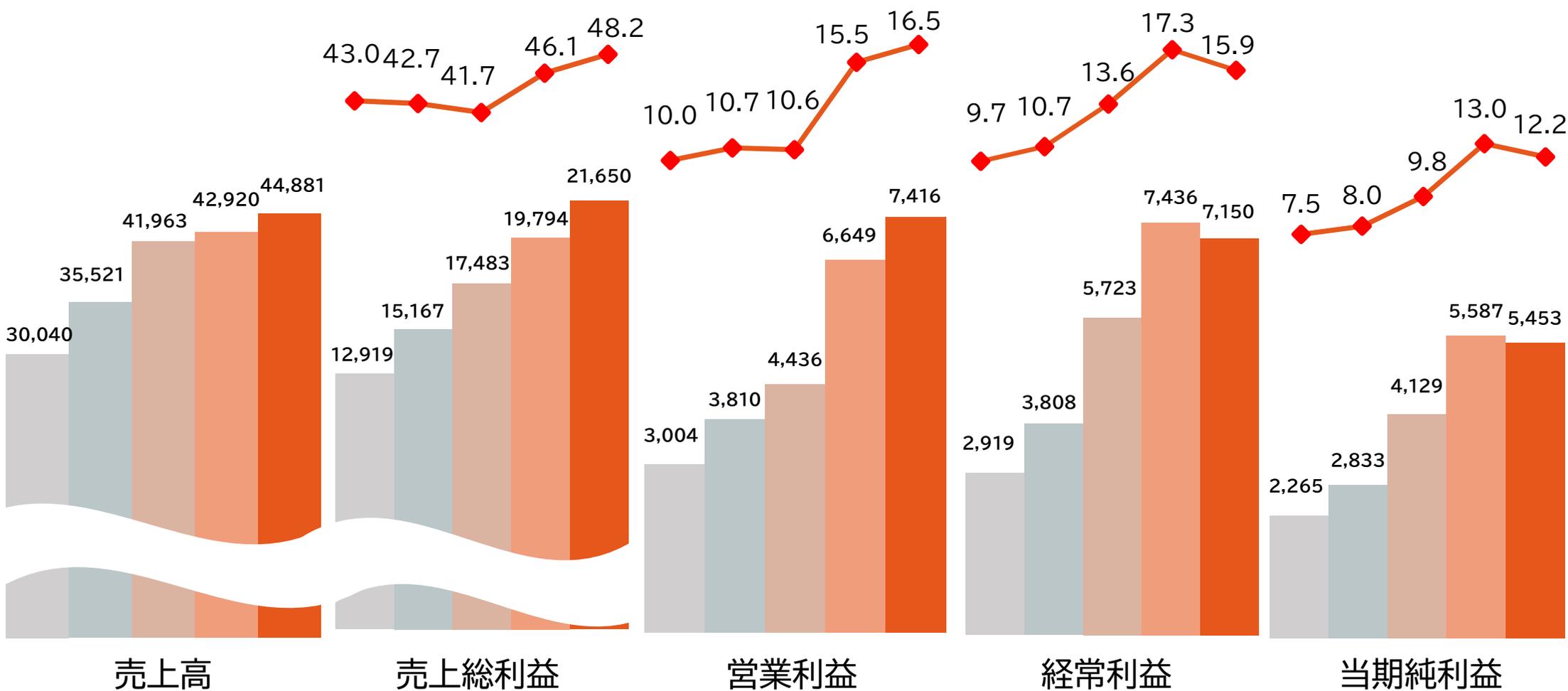
	当期実績	前期実績	増減率	上期計画※	達成率
売上高	44,881	42,920	+4.6	45,000	99.7
売上総利益	21,650	19,794	+9.4	—	—
同率	48.2	46.1		—	
営業利益	7,416	6,649	+11.5	7,200	103.0
同率	16.5	15.5		16.0	
経常利益	7,150	7,436	△3.8	7,340	97.4
同率	15.9	17.3		16.3	
親会社株主に帰属する 中間純利益	5,453	5,587	△2.4	5,600	97.4
同率	12.2	13.0		12.4	
一株当たり中間純利益	117.22	118.51	—	120.37	—

※2024年7月31日修正計画

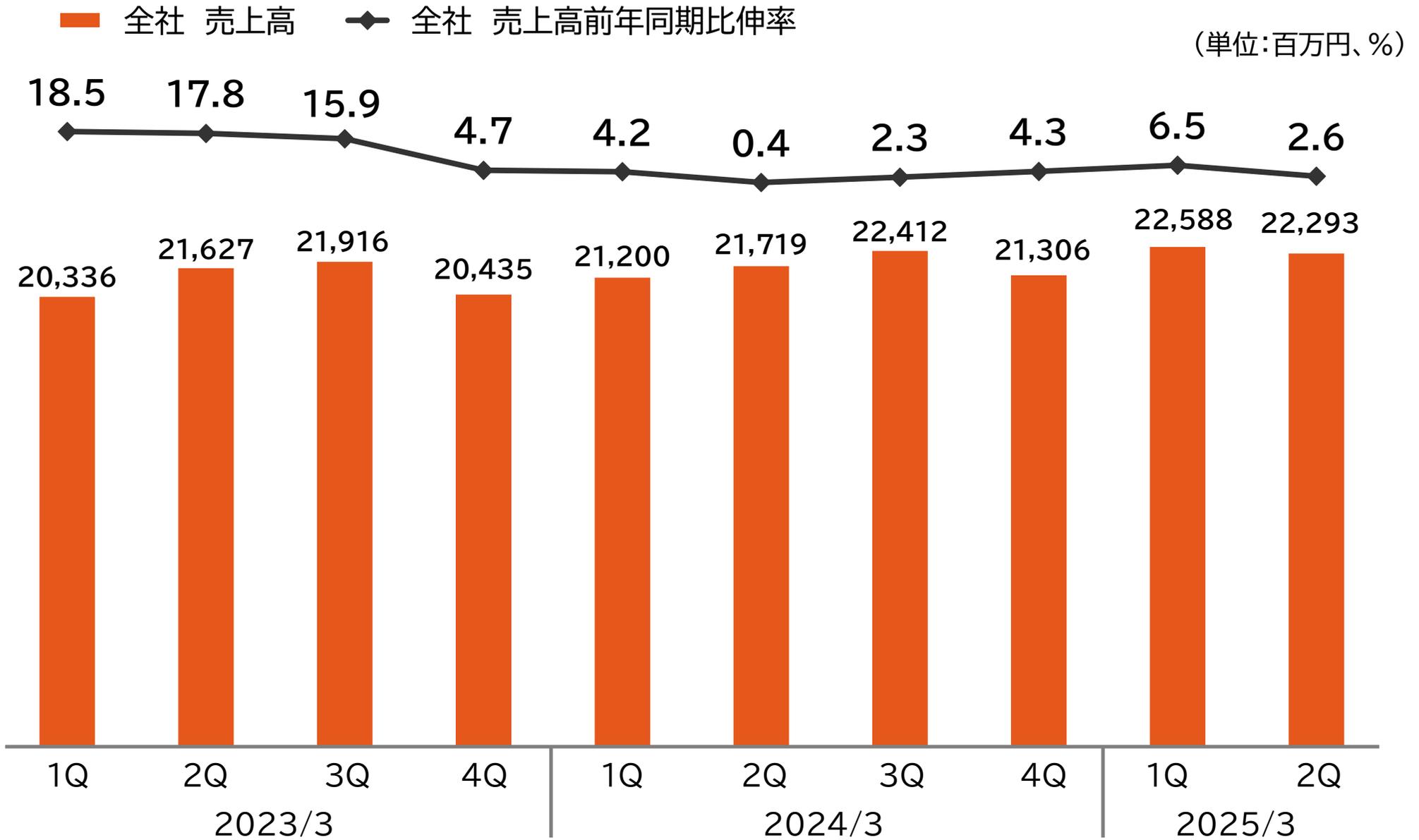
2021~25年3月期第2四半期 全社実績推移

2021年3月期2Q
 2022年3月期2Q
 2023年3月期2Q
 2024年3月期2Q
 2025年3月期2Q
 同率

(単位:百万円、%)

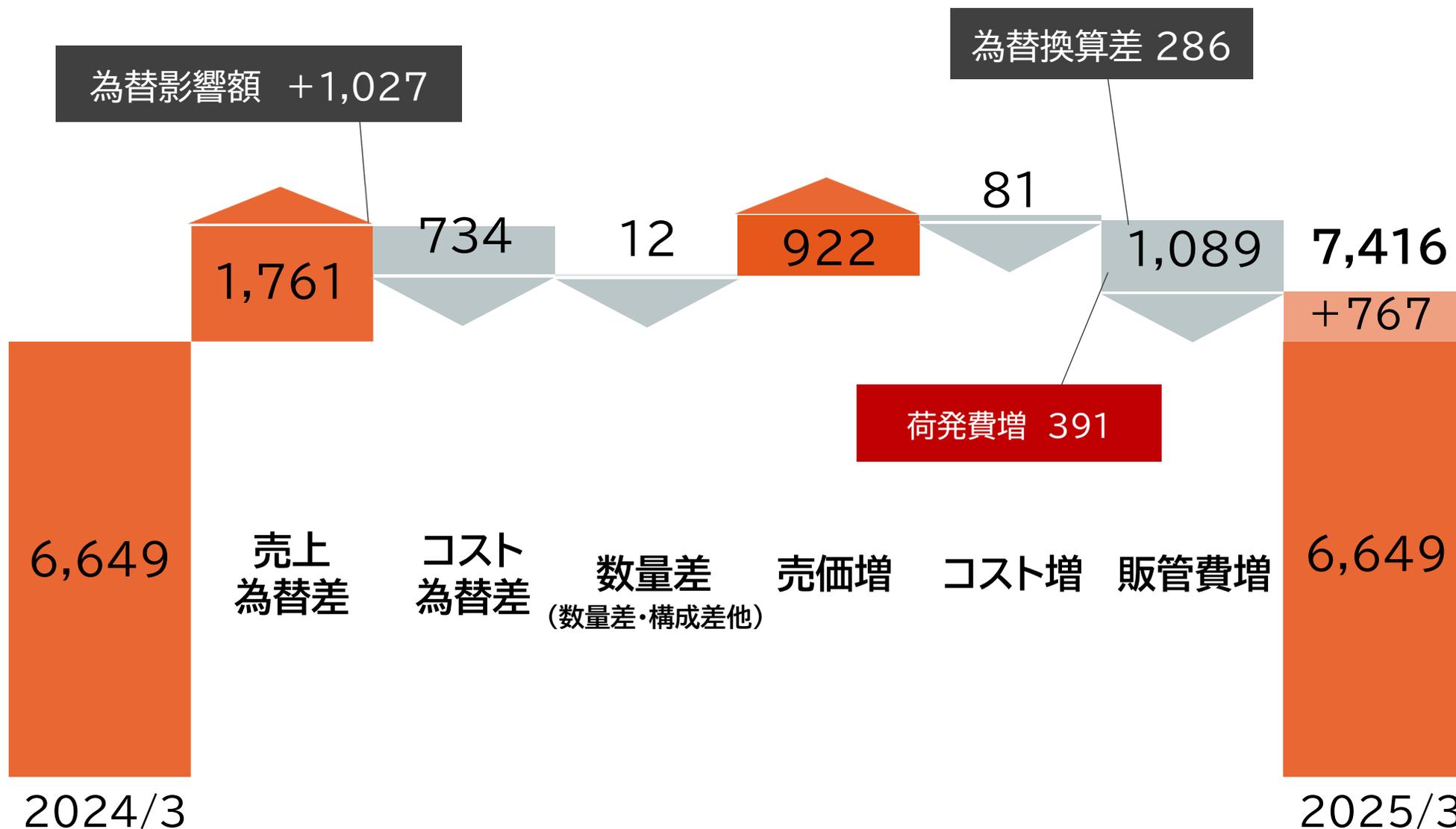


四半期別売上高推移



営業利益の増減要因

(単位:百万円)



■ 営業外収支と特別損益の実績

(単位:百万円)

	当期実績	前期実績	前年差
営業外収支	△265	787	△1,053
営業外収益(為替除き)	336	237	+99
営業外費用(為替除き)	△32	△46	+13
為替差額	△569	596	△1,165
特別損益	473	55	+418
特別利益	479※	69	+409
特別損失	△5	△14	+8

※主に株式の売却

■ 設備投資、減価償却費、研究開発費の実績

(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	当期年間計画	進捗率
設備投資	1,128	926	3,698	30.5
減価償却費	1,621	1,509	3,590	45.2
研究開発費	2,146	2,089	4,666	46.0

国内

景気は緩やかな回復の動きが継続。
インダストリアル機器部門に関連する新設住宅着工戸数が減少。

海外

米国は、ローン金利は足元で低下しているものの、住宅着工が低調に推移。一方で、建設投資は引き続き堅調に推移。欧州は、インフレの抑制や利下げに伴い、持ち直しの動きがみられたが、当社主要市場であるドイツでは景気の低迷が継続。

■ 参考指標

新設住宅着工戸数

・2024年1月～6月は前年比 Δ 4.5%
(持家 Δ 7.5%、賃貸 Δ 0.6%、分譲 Δ 7.7%)

→機工品事業(木造系)にマイナス影響

非居住建築物の着工床面積/建設技能労働者需給

・2023年10月～2024年3月は前年比+0.3 %
(事務所+39.6%、店舗 Δ 14.6%、工場 Δ 5.9%、倉庫+9.5%)

・建設技能労働者 鉄筋工(建築)の需給は、不足傾向

→機工品事業(コンクリート系)にプラス影響

為替

・1ドル153.93円、1ユーロ166.49円
(前年:1ドル139.94円、1ユーロ152.73円)

・売上為替感応度(年間換算)(※2025年3月期 計画値)
米ドル200百万円、ユーロ80百万円

・営業利益為替感応度(年間換算)(※2025年3月期 計画値)
米ドル50百万円、ユーロ80百万円

米国の新設住宅着工戸数

・2024年7月の年率換算値は126.2万戸、8月は136.1万戸、
9月は135.4万戸
(前年7月:147.3万戸、8月:130.5万戸、9月:136.3万戸)

2025年3月期第2四半期 セグメント実績

2025年3月期第2四半期 セグメント実績

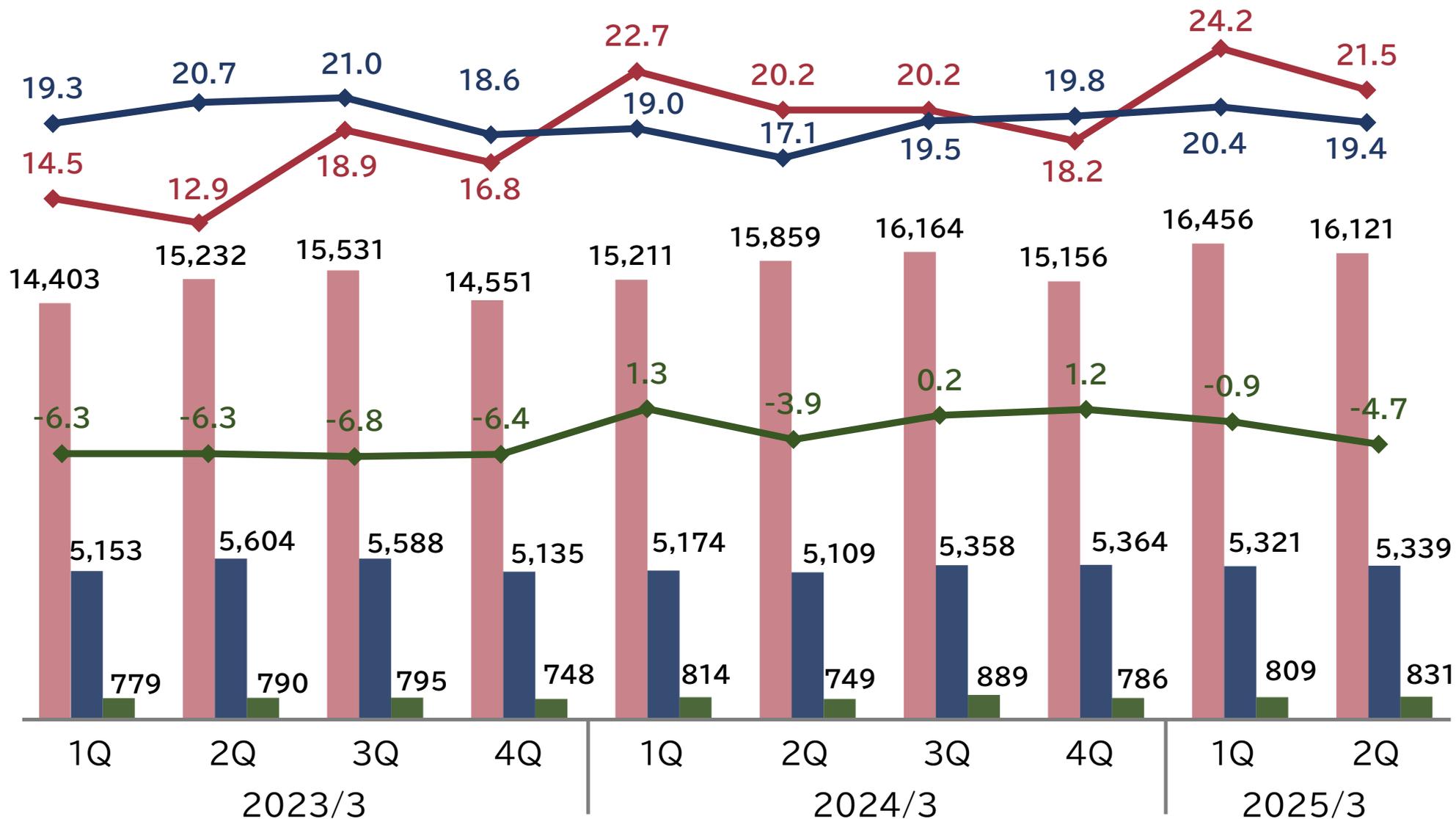
(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	増減率	上期計画※	達成率
インダストリアル機器部門					
売上高	32,577	31,071	+4.8	32,970	98.8
セグメント利益	7,453	6,656	+12.0	7,480	99.6
セグメント利益率	22.9	21.4		22.7	
オフィス機器部門					
売上高	10,661	10,284	+3.7	10,400	102.5
セグメント利益	2,120	1,859	+14.0	2,000	106.0
セグメント利益率	19.9	18.1		19.2	
HCR機器部門					
売上高	1,641	1,564	+5.0	1,630	100.7
セグメント利益	△ 45	△ 19	—	△ 20	—
セグメント利益率	△ 2.8	△ 1.2		△ 1.2	
調整額	△ 2,111	△ 1,846	—	△ 2,260	—
全社計					
売上高	44,881	42,920	+4.6	45,000	99.7
営業利益	7,416	6,649	+11.5	7,200	103.0
営業利益率	16.5	15.5		16.0	

※2024年7月31日修正計画

四半期別セグメント実績推移

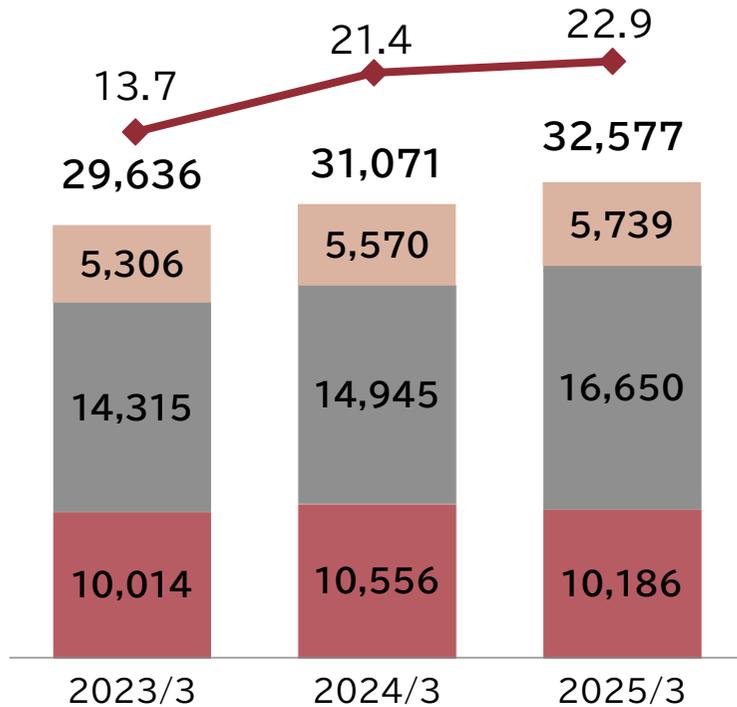
■ インダストリアル機器部門 売上高
 ■ オフィス機器部門 売上高
 ■ HCR機器部門 売上高
— インダストリアル機器部門 セグメント利益率
 — オフィス機器部門 セグメント利益率
 — HCR機器部門 セグメント利益率
 (単位:百万円、%)



インダストリアル機器部門 2025年3月期第2四半期実績

■ 国内機工品事業 ■ 海外機工品事業
■ 住環境機器事業 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



ターボドライバ(ねじ打機) 新製品



コンプレッサ 新製品



鉄筋結束機「ツインタイア」

国内機工品事業

▶ 鉄筋結束機「ツインタイア」新製品の拡販が進み、機械とその消耗品の販売が好調に推移しました。一方で、新設住宅着工戸数の減少の影響により、木造建築物向け工具の販売が引き続き低迷しました。

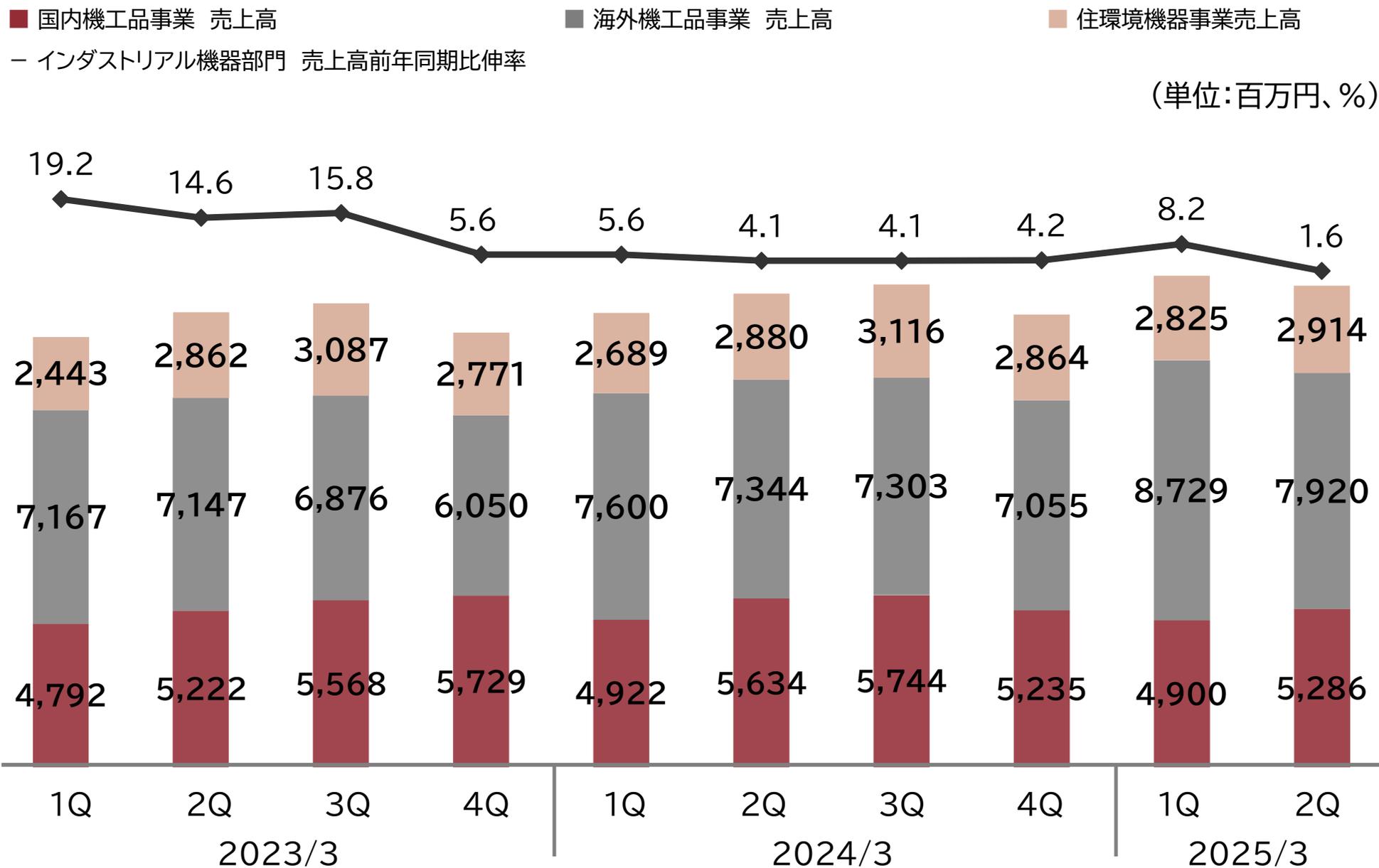
海外機工品事業

▶ 北米では、非住宅市場に対する建設支出の堅調な推移や機械の累計稼働台数の増加により、鉄筋結束機「ツインタイア」の消耗品の販売が増加しました。欧州では、主要エリアであるドイツや北欧などで販売数量の減少に底打ち感がみられることに加え、市況が堅調なエリアへの活動が進み、鉄筋結束機の機械と消耗品の販売が堅調に推移しました。

住環境機器事業

▶ 主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売が、注力しているリプレイス向け(既設機の置き換え)で減少したものの、一部OEM先向けで伸長しました。

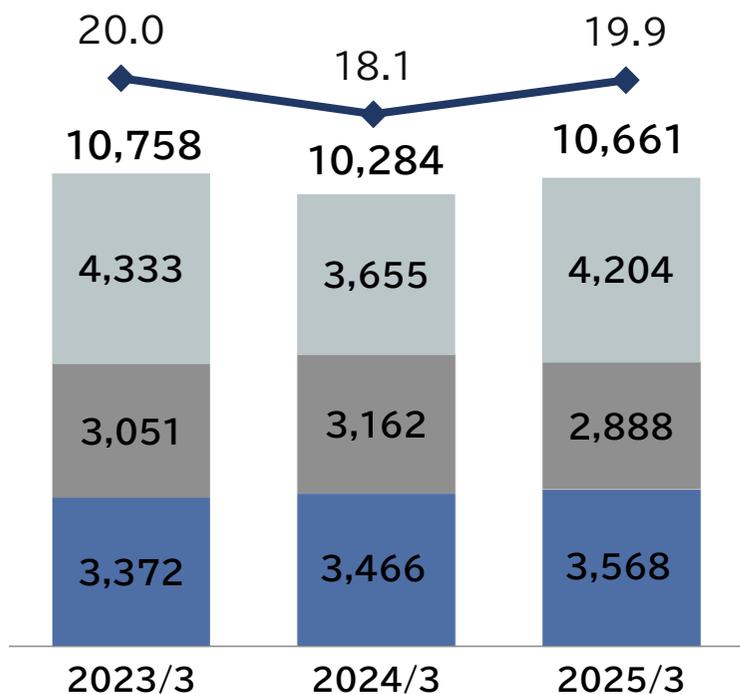
インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移



オフィス機器部門 2025年3月期第2四半期実績

■ 国内オフィス事業 ■ 海外オフィス事業
■ オートステープラ事業 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



表示作成機「ビーポップ」



チューブマーカ「レタツイン」

国内オフィス事業

- ▶ 新たな化学物質規制に対応したラベル用途の提案や、安全表示・人づくりコンテストを切り口にした大手企業への提案活動の推進などにより、表示作成機「ビーポップ」の販売が増加しました。

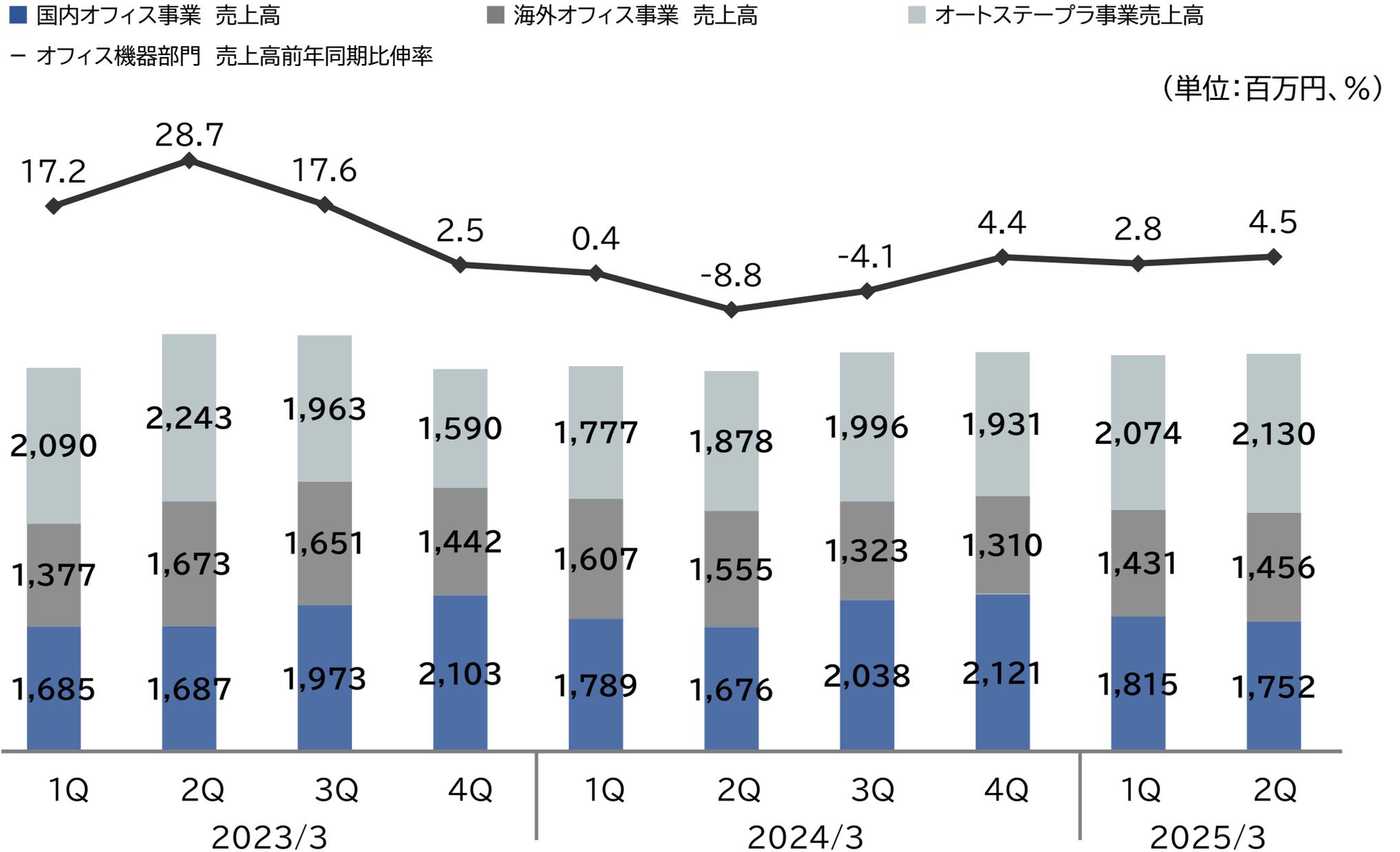
海外オフィス事業

- ▶ 表示作成機「ビーポップ」やチューブマーカ「レタツイン」などの文字表示機器の販売が堅調に推移したものの、東南アジアの一部地域での景気低迷などが続き、文具関連製品の販売が減少しました。

オートステープラ事業

- ▶ 取引先からの受注の回復基調が継続し、機械と消耗品の販売が堅調に推移しました。

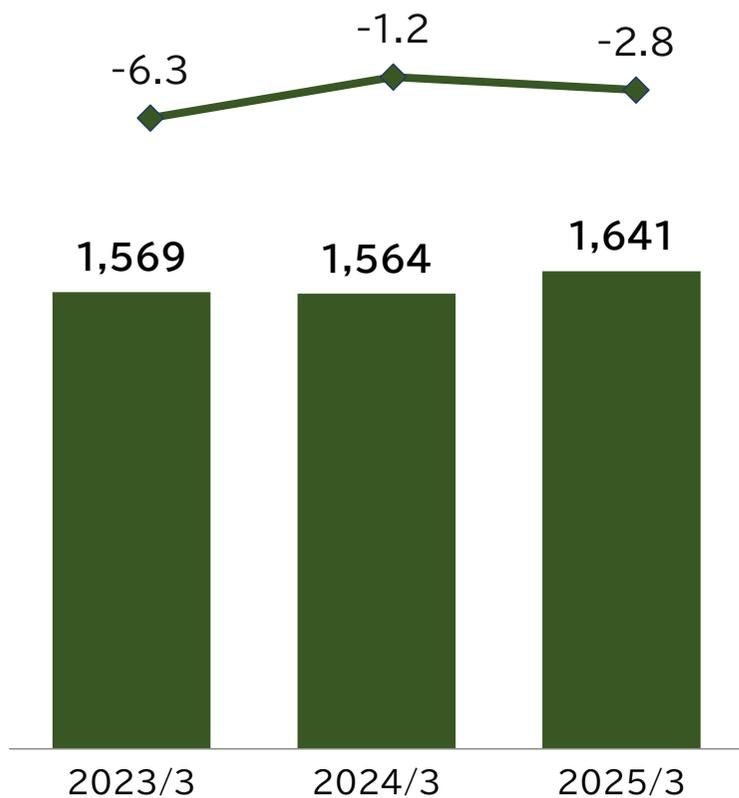
オフィス機器部門 四半期別売上高推移



HCR機器部門 2025年3月期第2四半期実績

■ HCR機器部門売上高 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



海外市場向け車いす



多機能車いす
「モダンシリーズ」

HCR機器部門



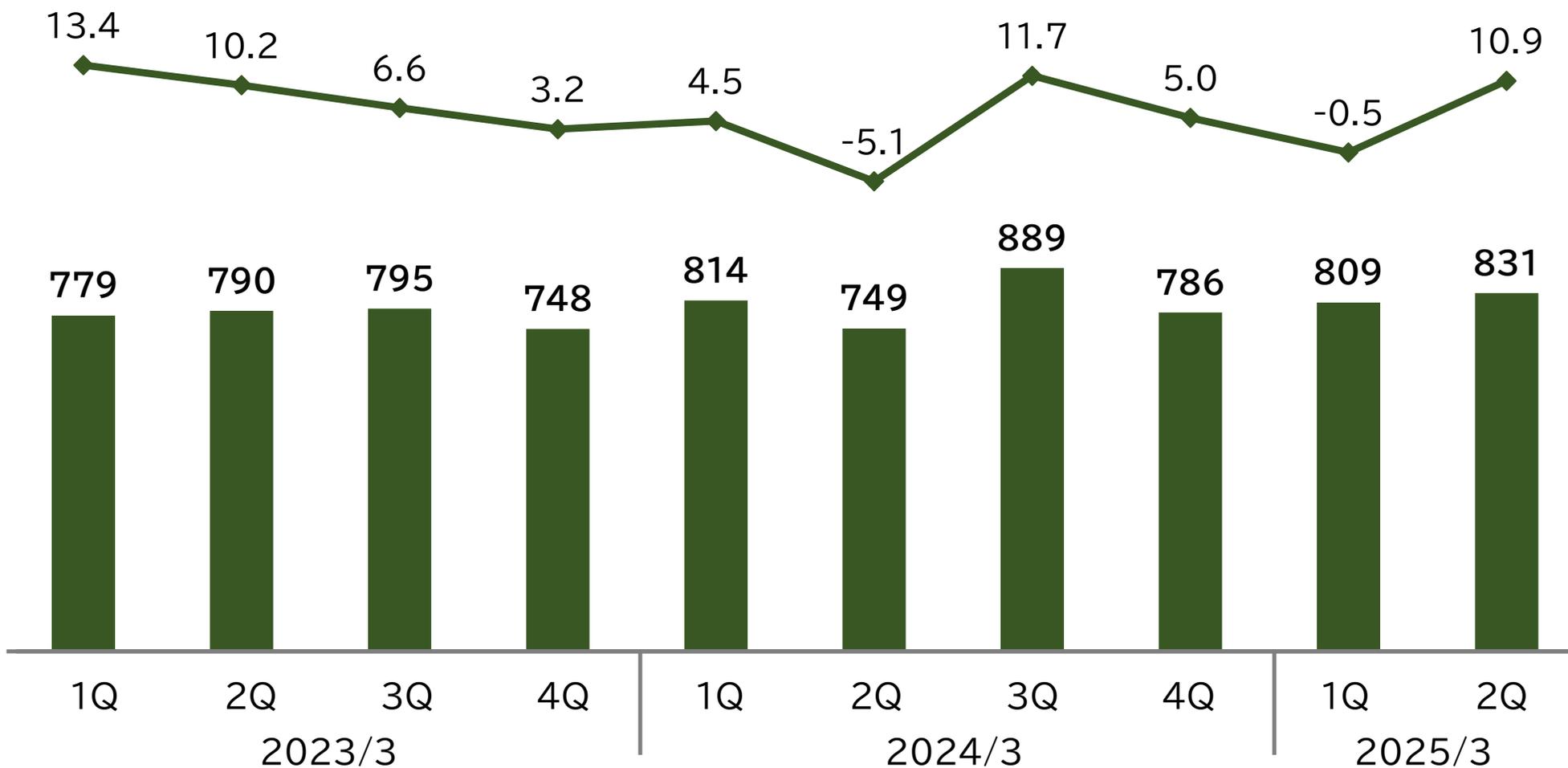
国内市場で取引先からの受注が低迷したものの、中国のレンタル市場を中心とする海外向け車いすの販売が伸びました。

HCR機器部門 四半期別売上高推移

■ HCR機器部門 売上高

— HCR機器部門 売上高前年同期比伸率

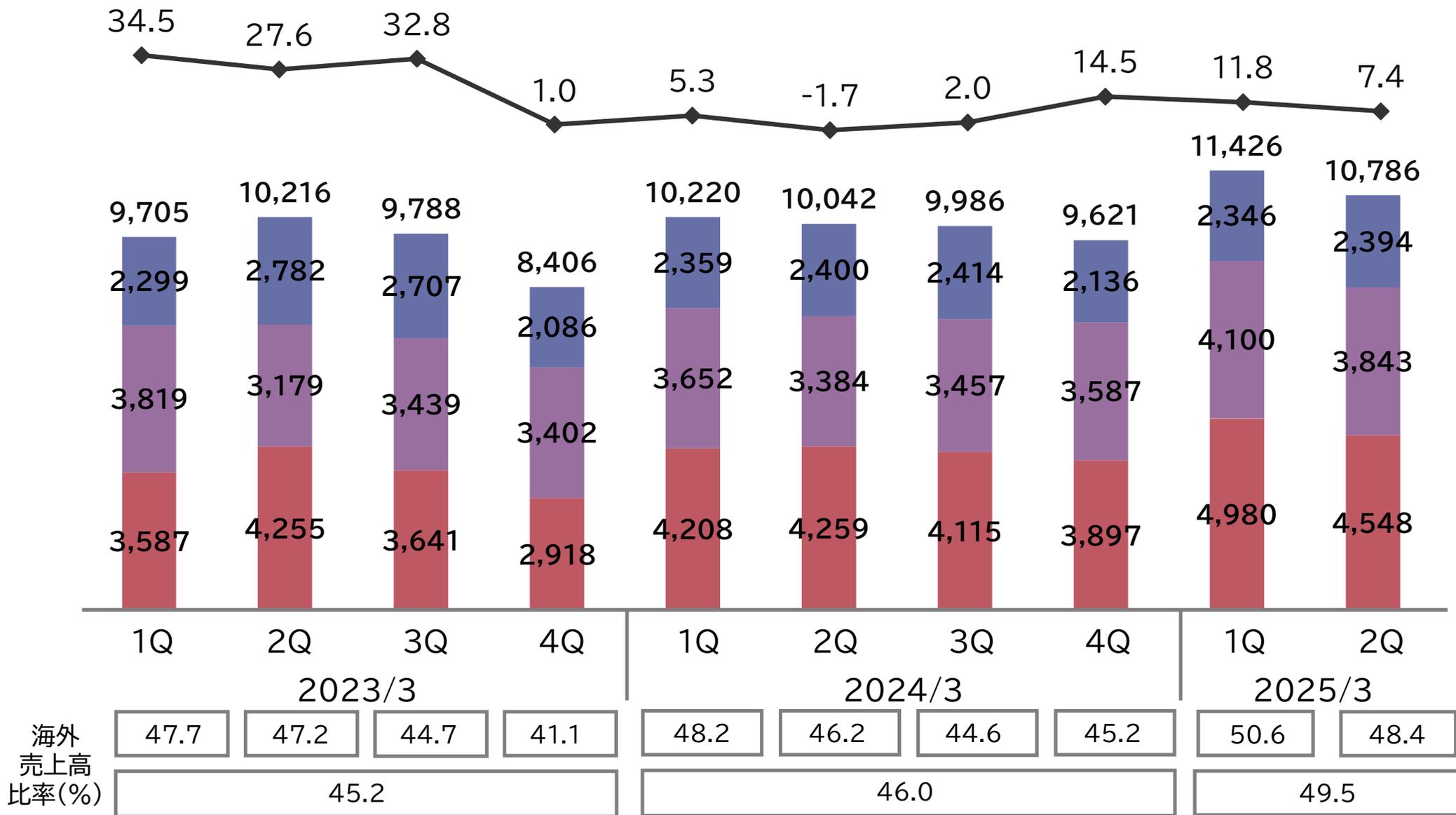
(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別売上高推移

■ 北米 売上高 ■ 欧州 売上高
 ■ アジア 売上高 — 海外売上高合計 前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



※オートステープラ事業の海外売上高も含んでおります。

鉄筋結束機事業を中心にコンクリート構造物向け工具の販売は堅調に推移

- ・コンクリート構造物向け工具売上 **175億円**（国内31億円・海外144億円）
対前年+**13.5%**の伸長/年間計画に対する進捗率**54.7%**

機械の累計稼働台数の増加にともない消耗品のタイヤが堅調に推移

<海外>

〔北米〕

- ・非住宅市場に対する建設投資は引き続き堅調。機械は、新製品の配荷が進んだものの、前年にプロモーションを実施した影響で、前年比では販売台数が減少。一方、消耗品は、機械の稼働台数の増加に伴い、大きく伸長。

〔欧州〕

- ・主要エリアであるドイツやスウェーデンなどで、販売数量の減少に底打ち感がみられ、徐々に代理店やディーラーからのセールアウトが回復。
- ・5月に発売した「ツインタイヤ」新製品の拡販に加えて、市況が堅調な南欧・東欧への拡販活動を推進し、第2四半期累計で機械・消耗品ともに前年超えの水準。

<国内>

- ・「ツインタイヤ」新製品の拡販が進み、機械の販売が増加。機械の稼働台数の増加により、消耗品の販売も好調に推移。

世界初の4G LTE通信とGPS機能を搭載した鉄筋結束機を発売

～稼働状況の可視化や盗難時の追跡を実現～

KDDI株式会社(以下、KDDI社)との共同開発で、
KDDI社のIoTネットワークサービスを、マックスの充電式鉄筋結束機本体に組み込み、
現場作業の生産性・作業の効率化に向けて、IoTなどのデジタル技術を活用した建設DXを推進

【販売エリア】

関東1都3県(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)
順次、全国及び海外に展開を予定

【主な特長】

- ① GPSとリモートロックで盗難時のトラブル抑止
- ② 工具の稼働状況の可視化
- ③ 現場の繁閑に合わせた工具の配置



2025年3月期 業績予想

■想定為替レート(3Q以降)

1ドル 145.00円
1ユーロ 160.00円

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2024/10/31)	前回計画 (2024/7/31)	差額	前期実績	増減率
売上高	90,300	90,300	—	86,638	+4.2
営業利益 同率	13,600 15.1	13,600 15.1	—	12,601 14.5	+7.9
経常利益 同率	13,740 15.2	13,740 15.2	—	13,717 15.8	+0.2
親会社株主に帰属する当期純利益 同率	10,360 11.5	10,360 11.5	—	10,435 12.0	△0.7
1株当たり当期純利益(円)	222.67	222.91	△0.24	222.57	
ROE	10.1	10.1	—	11.1	

- ・ 2024年7月31日に公表しました通期の連結業績予想に対し、売上高、各利益ともに変更はありませんが、足元の推移及び今後の動向等を踏まえ、セグメント別及び事業別の業績予想値を修正しております。

2025年3月期 セグメント計画

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2024/10/31)	前回計画 (2024/7/31)	差額	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門					
売上高	65,290	65,640	△350	62,392	+4.6
セグメント利益	14,030	14,060	△30	12,691	+10.5
セグメント利益率	21.5	21.4		20.3	
オフィス機器部門					
売上高	21,670	21,320	+350	21,006	+3.2
セグメント利益	4,180	4,000	+180	3,965	+5.4
セグメント利益率	19.3	18.8		18.9	
HCR機器部門					
売上高	3,340	3,340	—	3,239	+3.1
セグメント利益	0	0	—	△7	—
セグメント利益率	0.0	0.0		△0.2	
調整額	△4,610	△4,460	△150	△4,048	—
全社計					
売上高	90,300	90,300	—	86,638	+4.2
営業利益	13,600	13,600	—	12,601	+7.9
売上高営業利益率	15.1	15.1		14.5	

2025年3月期 サブセグメント(事業別)計画

20

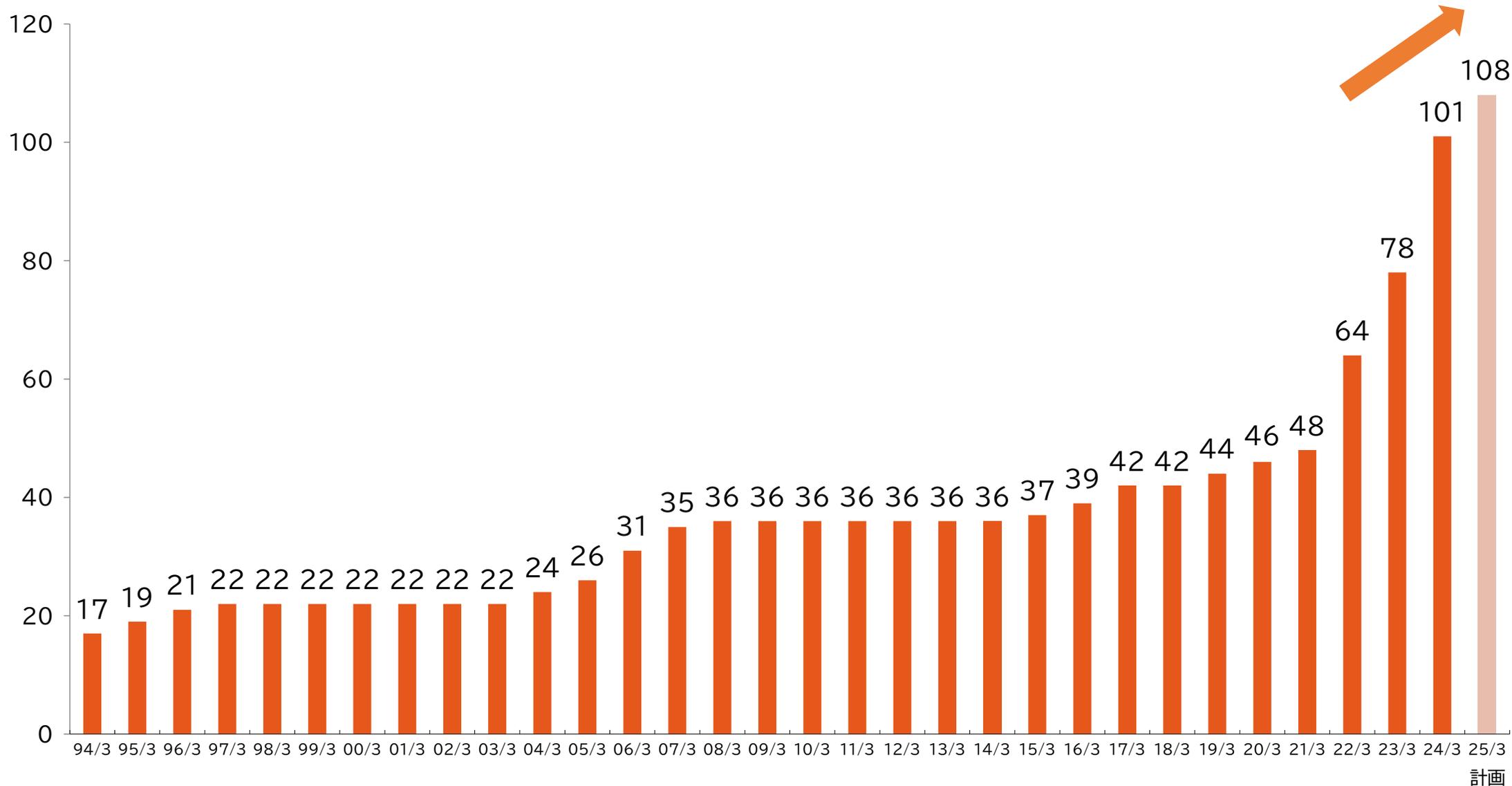
(単位:百万円、%)

	今回計画 (2024/10/31)	前回計画 (2024/7/31)	差額	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門					
セグメント売上高	65,290	65,640	△350	62,392	+4.6
国内機工品	21,560	21,960	△400	21,536	+0.1
海外機工品	31,930	31,930	—	29,304	+9.0
住環境機器	11,800	11,750	50	11,551	+2.2
セグメント利益	14,030	14,060	△30	12,691	+10.5
セグメント利益率	21.5	21.4		20.3	

	今回計画 (2024/10/31)	前回計画 (2024/7/31)	差額	前期実績	増減率
オフィス機器部門					
セグメント売上高	21,670	21,320	350	21,006	+3.2
国内オフィス	7,820	7,750	70	7,626	+2.5
海外オフィス	5,850	5,800	50	5,796	+0.9
オートステープラ	8,000	7,770	230	7,583	+5.5
セグメント利益	4,180	4,000	180	3,965	+5.4
セグメント利益率	19.3	18.8		18.9	

配当政策 1株当たり配当金

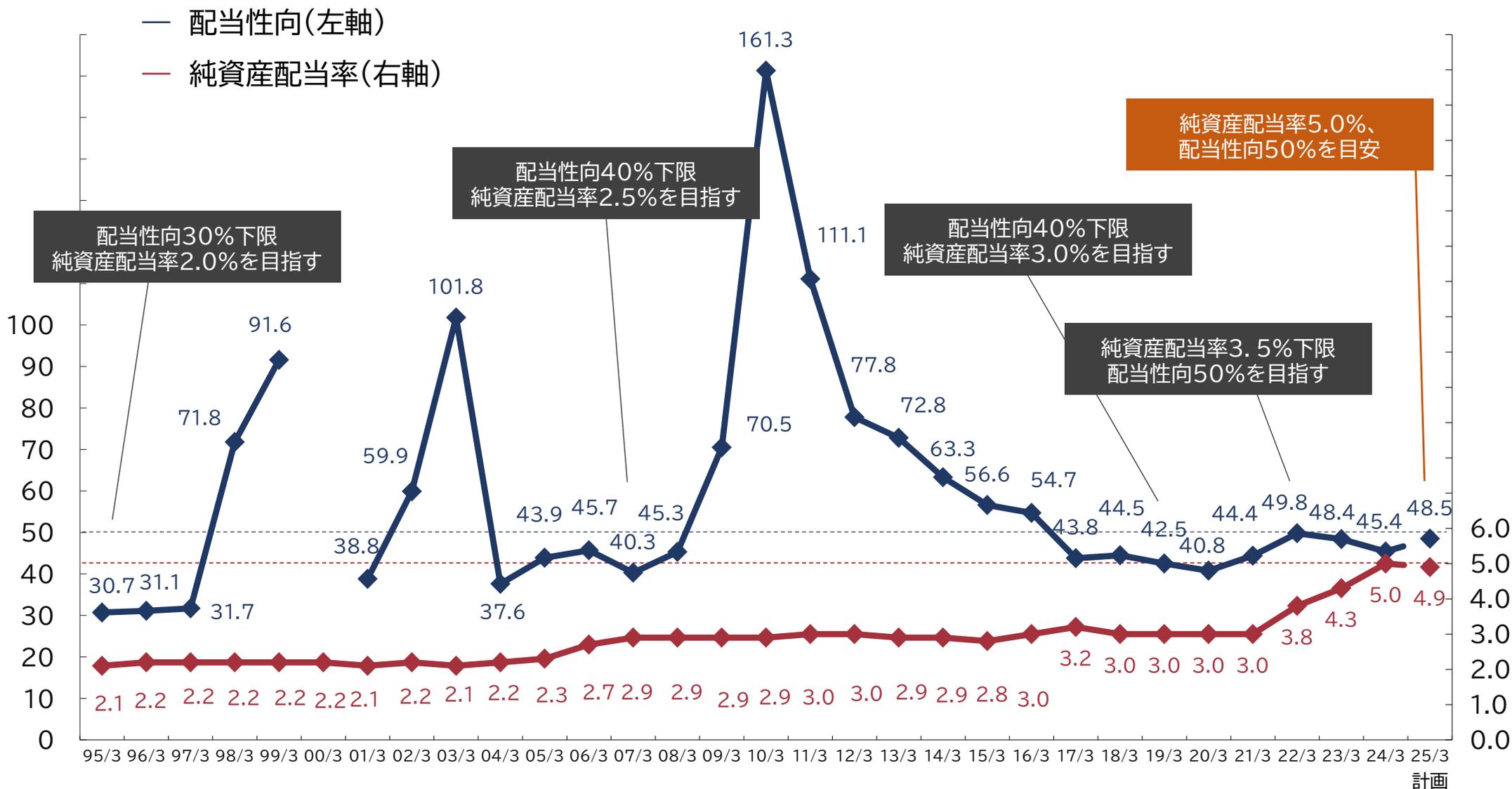
(単位:円)



配当政策 配当性向と純資産配当率

連結決算を基準に、「純資産配当率5.0%、配当性向50%を目安とする」

(単位:%)



※2005年3月期までは単独ベースです。

統合報告書2024を発行しました

ステークホルダーの皆さまに当社グループに対する理解をより深めていただくため、統合報告書2024を発行しました。

主なポイント

価値創造プロセスの充実

マックスが世の中に生み出す価値を、「人手不足の解消」や「職場・家庭の安全衛生向上への貢献」など具体化し、アウトカムにおける経済価値・社会価値・環境価値に明示することで、価値創造プロセスの充実を図りました。

鉄筋結束機事業特集

成長の原動力となっている鉄筋結束機の歴史に加えて、堅調に推移している北米エリアの現地営業責任者のコメントを掲載しています。
また、鉄筋結束機事業の想定市場規模と成長戦略についても、あわせて掲載しています。

「統合報告書2024」は当社Webサイトをご覧ください。

<https://www.max-ltd.co.jp/about/ir/data/integrated/>

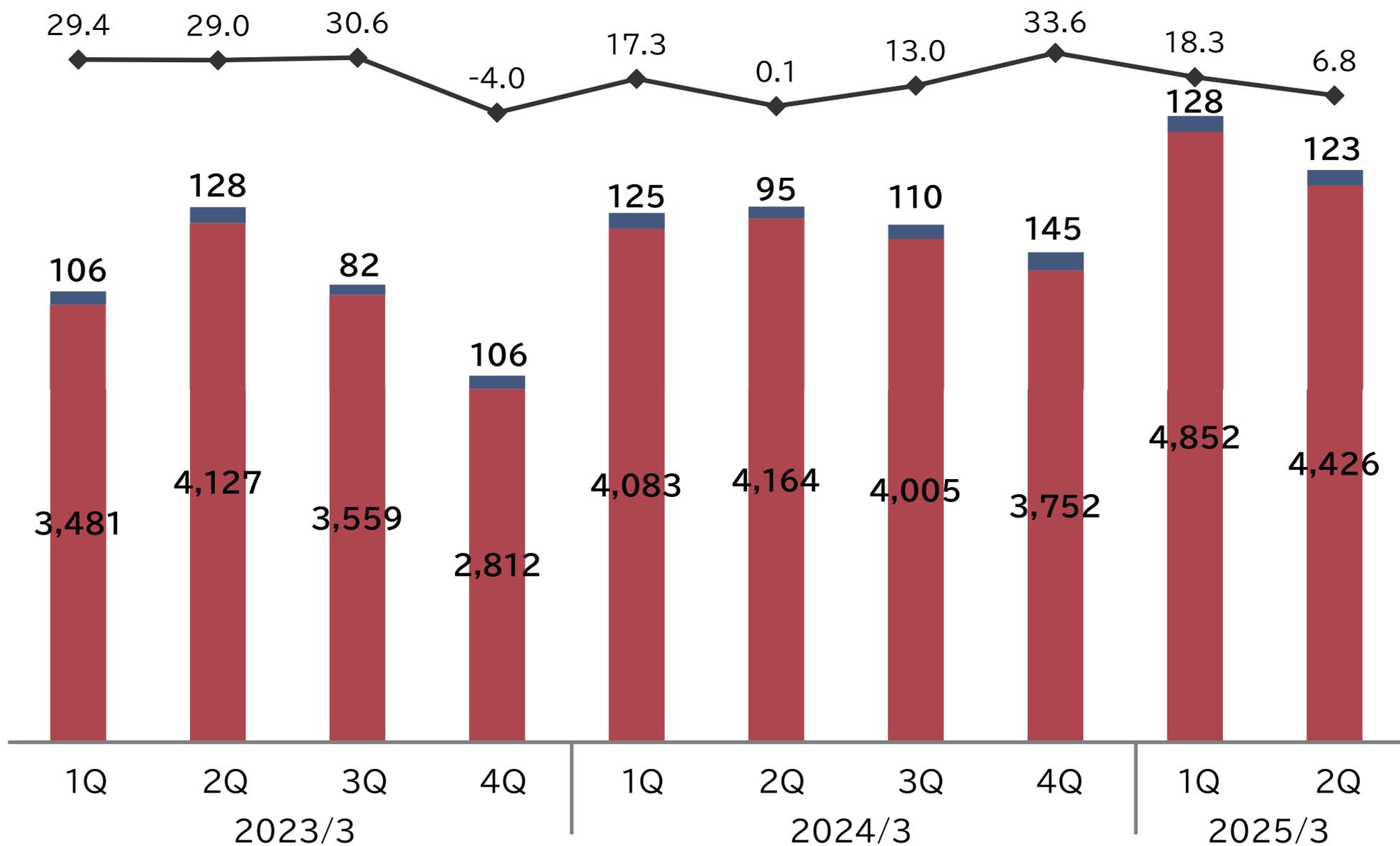


參考資料

四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)

■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 北米売上高前年同期比伸率

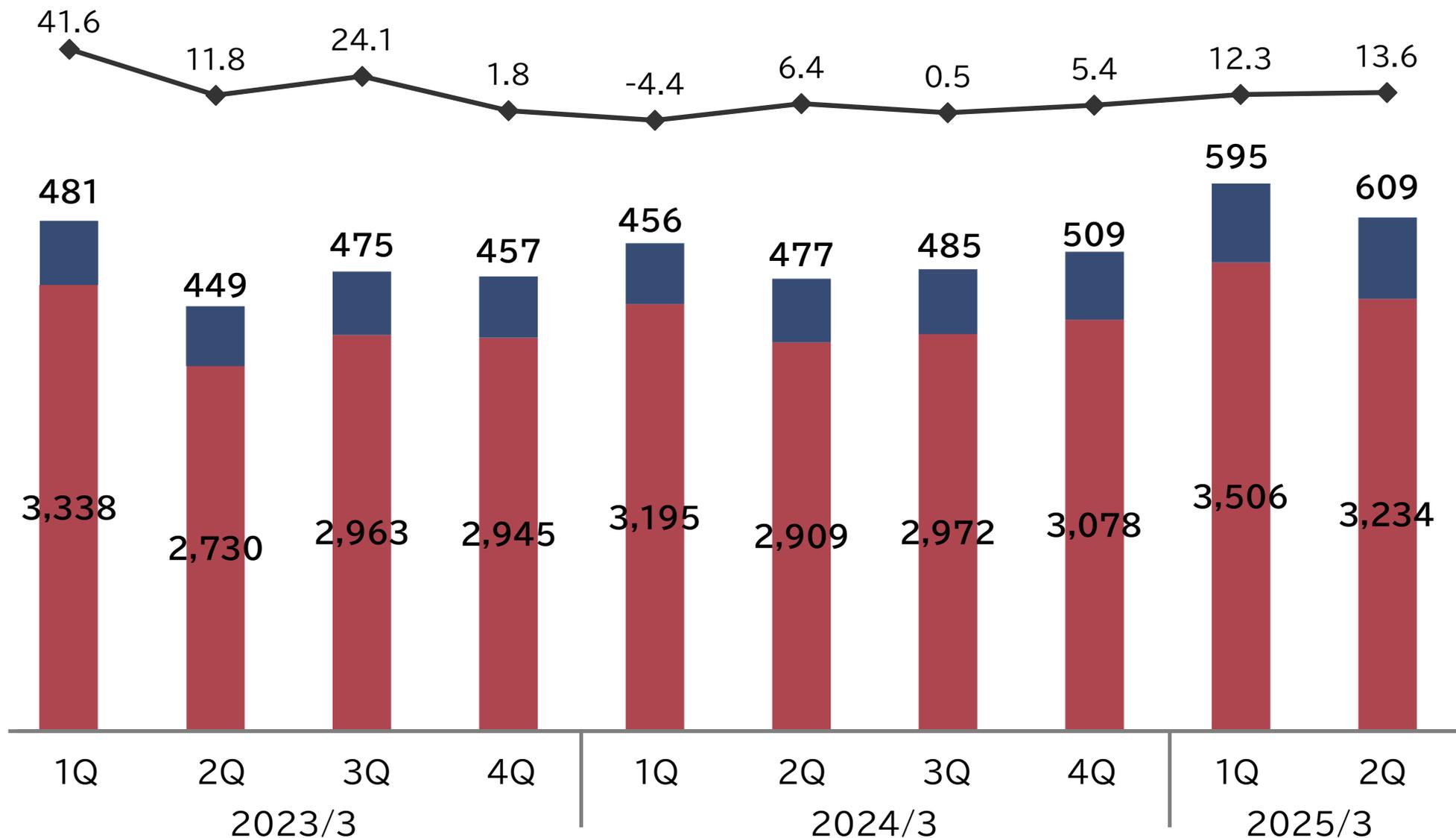
(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)

■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 欧州売上高前年同期比伸率

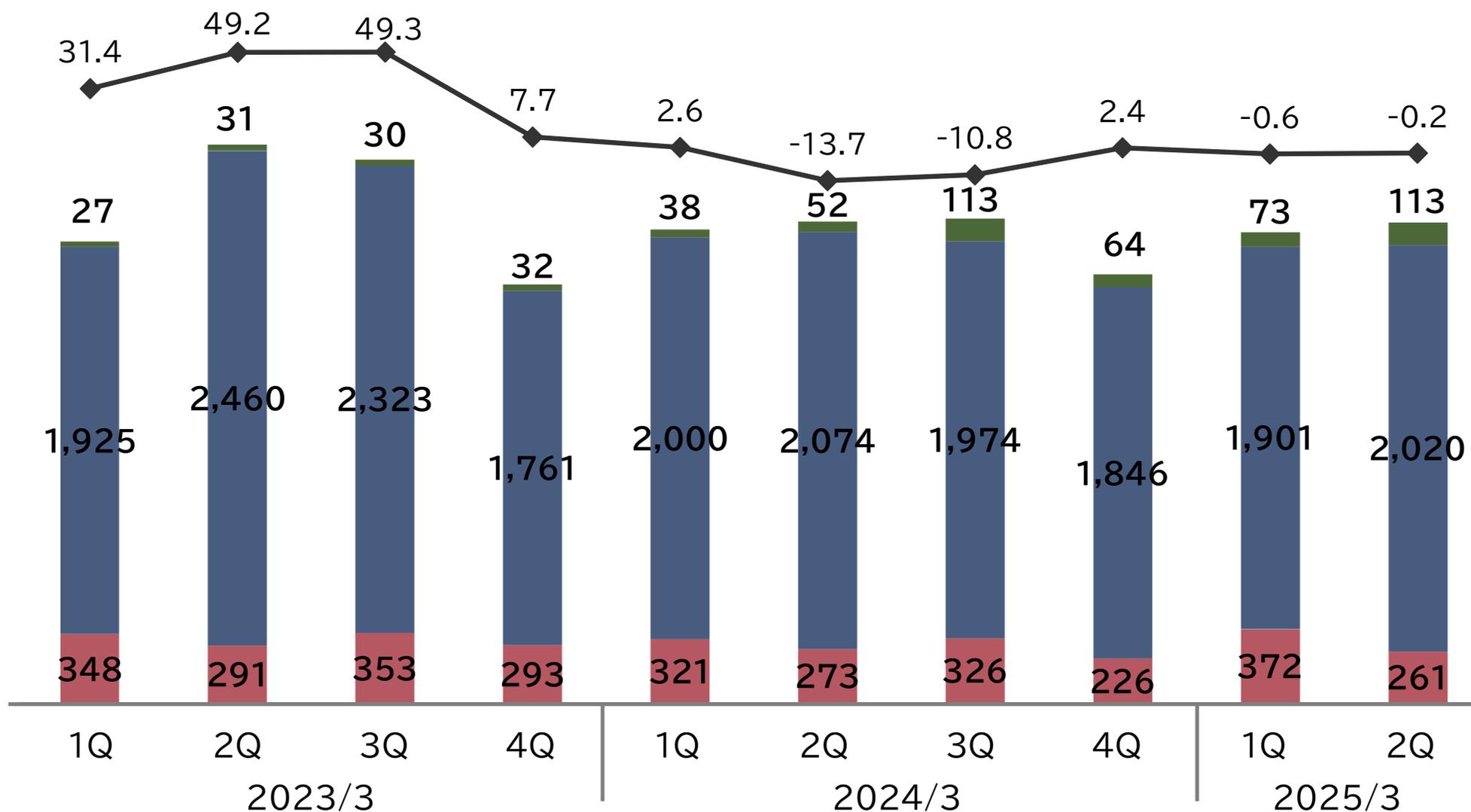
(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア)

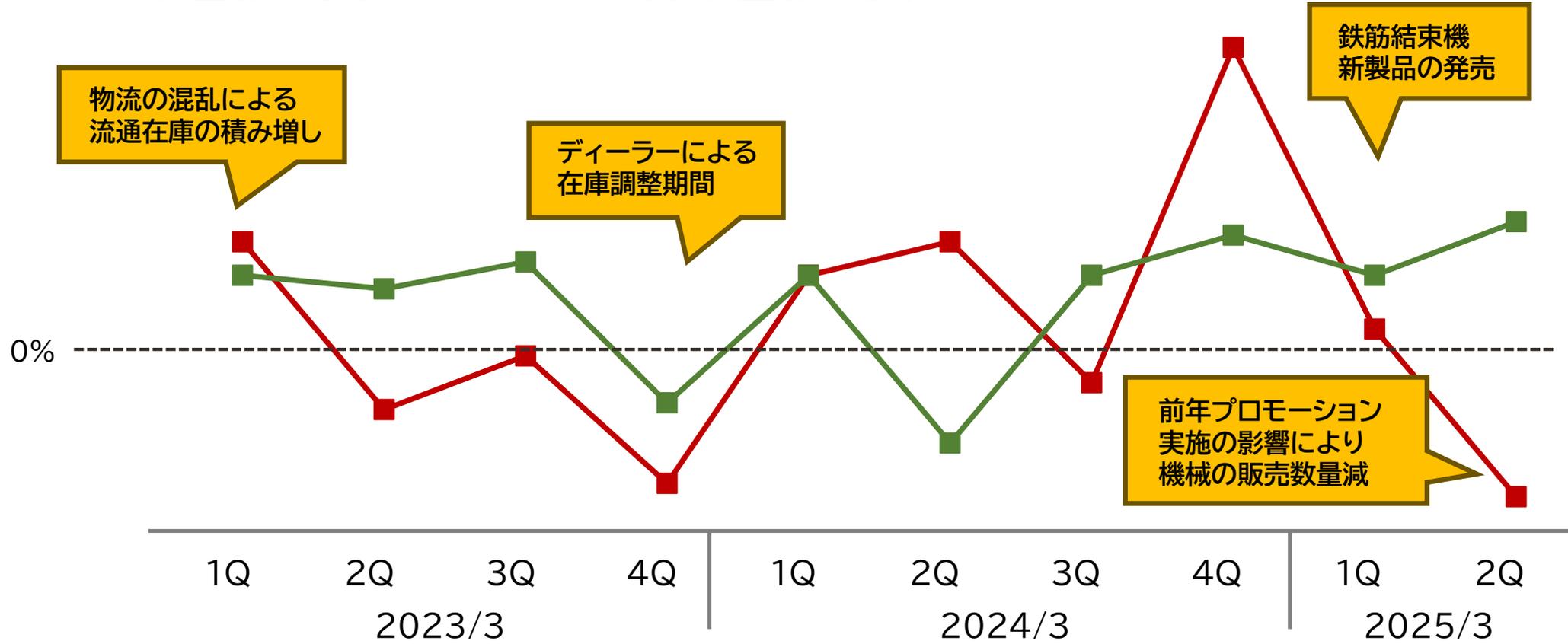
- インダストリアル機器部門 売上高
- オフィス機器部門 売上高
- HCR機器部門 売上高
- アジア売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



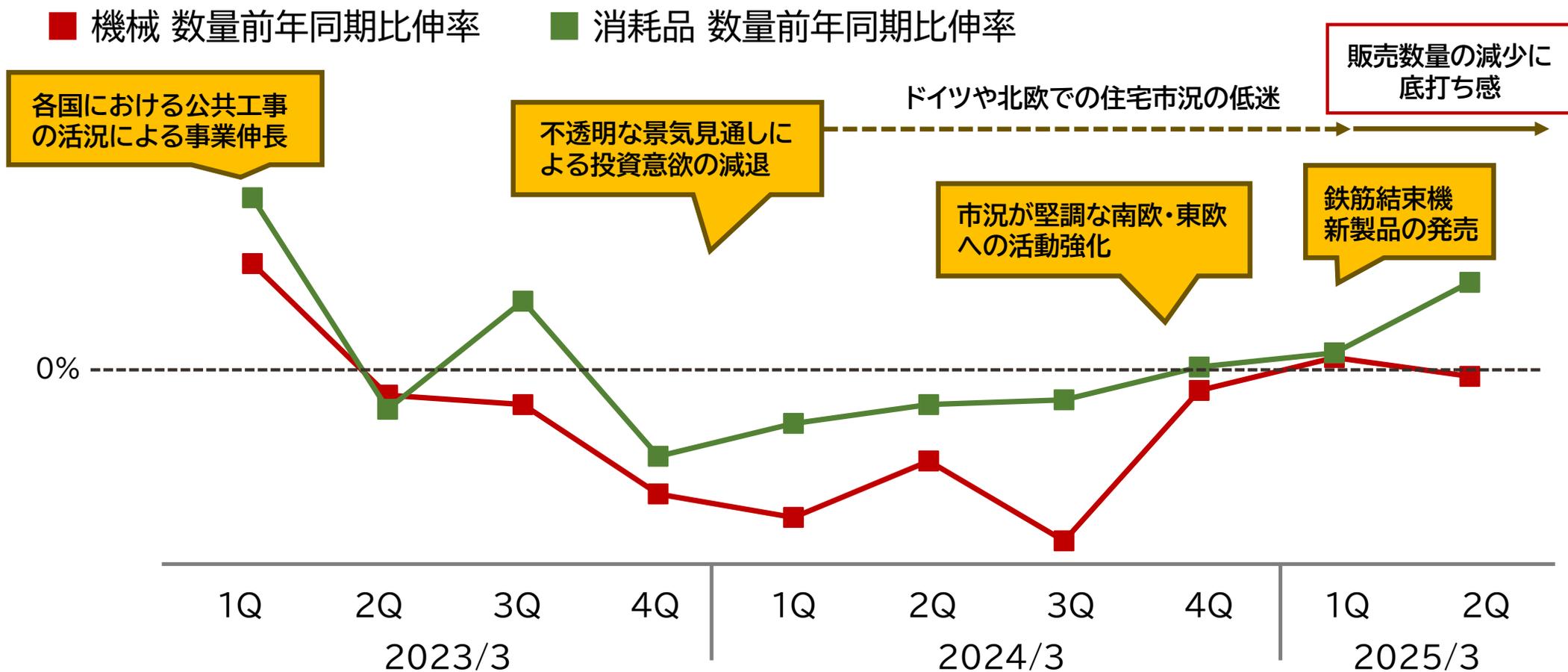
鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(北米)

■ 機械 数量前年同期比伸率 ■ 消耗品 数量前年同期比伸率



北米	2023/3				2024/3				2025/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
機械	16%	-9%	-1%	-20%	11%	16%	-5%	45%	3%	-22%
消耗品	11%	9%	13%	-8%	11%	-14%	11%	17%	11%	19%

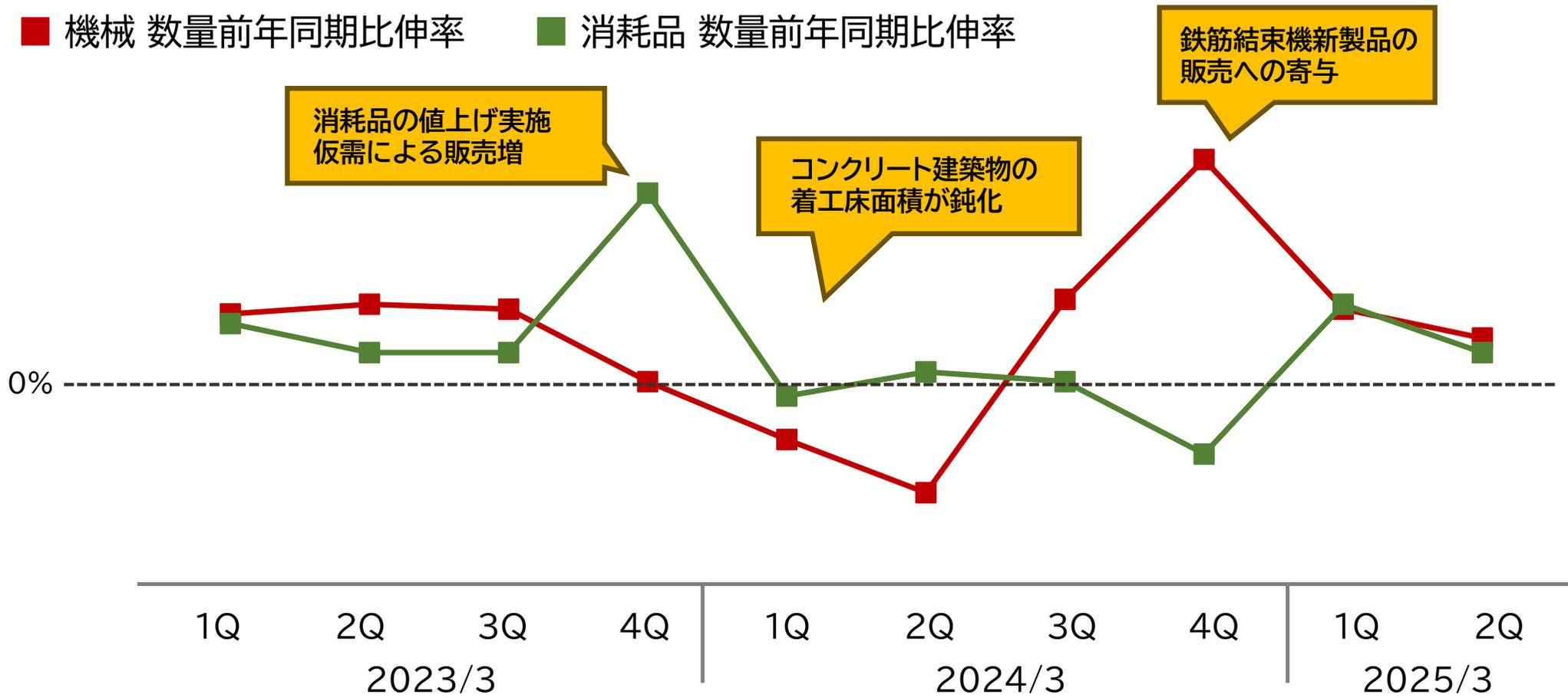
鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(欧州)



欧州	2023/3				2024/3				2025/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
機械	22%	-6%	-8%	-27%	-32%	-20%	-37%	-5%	2%	-2%
消耗品	36%	-9%	14%	-19%	-12%	-8%	-7%	0%	3%	18%

鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(国内)

■ 機械 数量前年同期比伸率 ■ 消耗品 数量前年同期比伸率



国内	2023/3				2024/3				2025/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
機械	14%	16%	15%	0%	-12%	-23%	17%	46%	15%	9%
消耗品	12%	6%	6%	39%	-3%	2%	0%	-15%	16%	6%

機工品事業

木造建築物向け工具

釘打機



エアコンプレッサ



充電工具



コンクリート構造物向け工具

鉄筋結束機
「ツインタイア」



コンクリートネイラ



ガスネイラ



AF(農業・食品)

園芸用誘引結束機



袋とじ機



オフィス事業

文具関連製品

ホッチキス



パンチ



スタンプ他



文字表示機器

表示作成機
「ビーポップ」



チューブマーカー
「レタツイン」



食品表示用
ラベルプリンタ



その他

タイムレコーダ

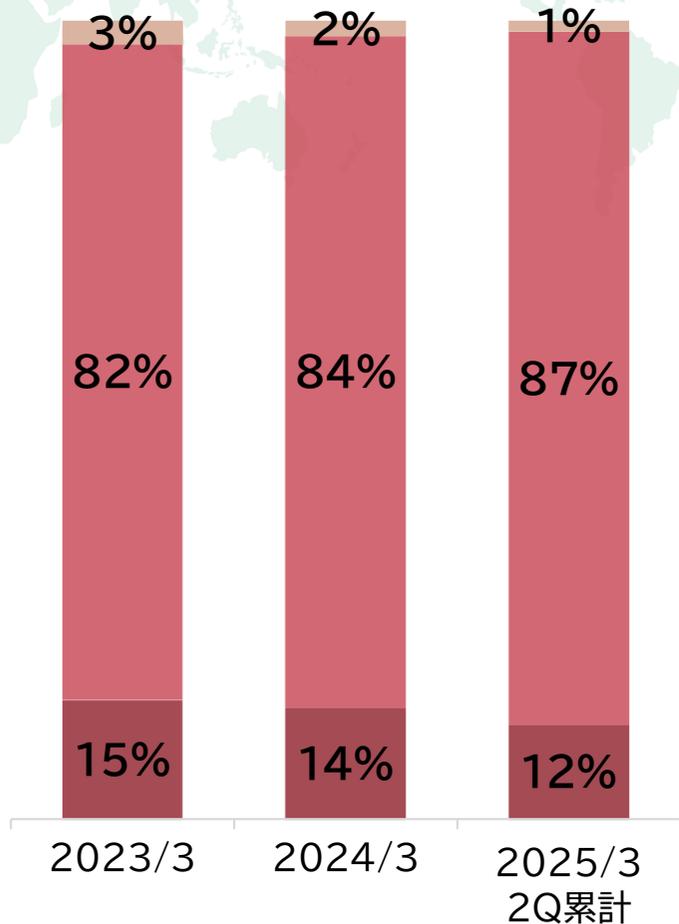
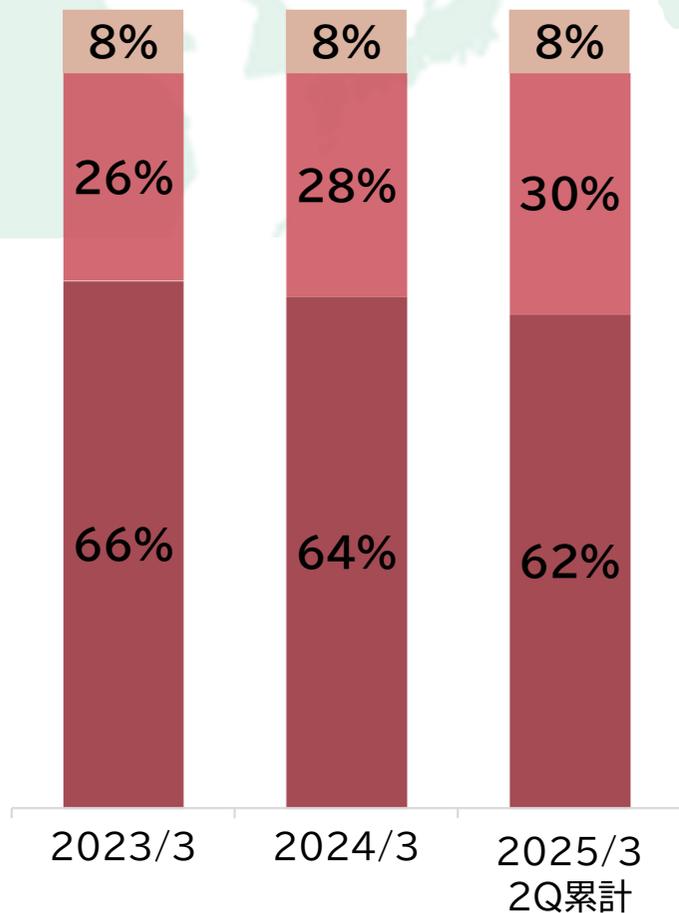


筆耕



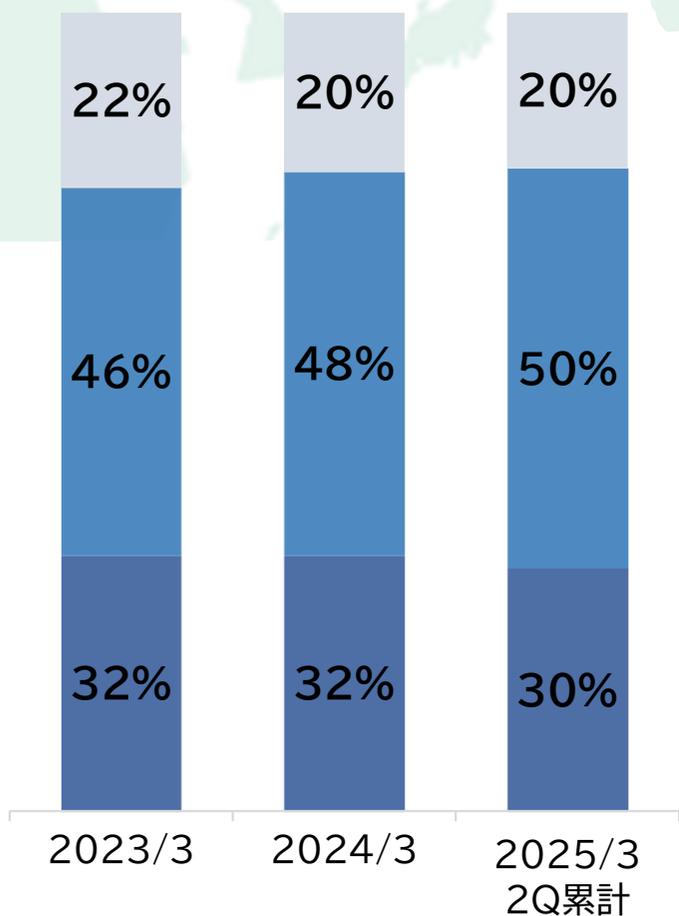
国内機工品事業
製品内訳

海外機工品事業
製品内訳

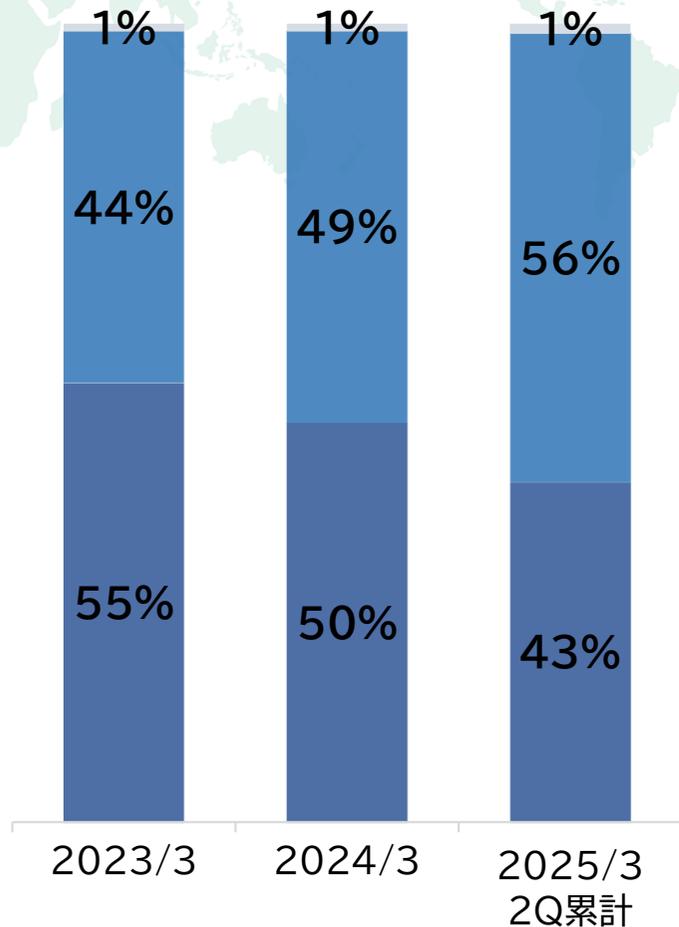


- AF(農業・食品)
- コンクリート構造物向け工具
- 木造建築物向け工具

国内オフィス事業 製品内訳



海外オフィス事業 製品内訳



- その他
- 文字表示機器
- 文具関連製品

The logo consists of the word "MAX" in a bold, white, sans-serif font, centered within a solid orange rectangular background.The slogan "ENGINEERED FOR PERFORMANCE" is written in a bold, orange, sans-serif font. It is positioned between two curved, orange, brushstroke-like lines that sweep upwards from the bottom and outwards to the sides.

本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。予めご承知おきください。